

3 楽章

- ・ 激しい怒りが怒濤のように押し上げ、噴き上がってくる。訓練度の高いしなやかな指の動き—強烈なアクセントと共に響き渡ってくる。長い留学先でのドイツ・ピアノ音楽の修業、先生の厳しい奥深い指導で自らを鍛え上げていった成果が見事に花開きつつある。
- ・ 3楽章では、左手が右手に生き生き呼応し、発展していく。
- ・ 貴族と平民の結婚差別の告発、結婚の自由、人間平等と自由への人類解放の展望を高らかに力強く大胆不敵に表現した。
- ・ 近藤静さんのピアノソロは、本日プログラムのトップに輝いた。

檀美知生 テノールソロ ピアノ 早川奈穂子

- ・ 檀美知生の特性—音楽劇創造の長い蓄積、企画力、製作プロデュース、合唱指揮に優れた才能をもっている。

絵本物語「ほうすけのひよこ」—陽気で楽天的な歌好きな日本の農民ほうすけ—歌と農業生産と自然との共生の物語。とても楽しく面白かった。この歌を、あらゆるところで歌いつづけていってほしい

「ヨイトマケの歌」

- ・ 「なぐさめてもらおうと、だいてもらおうと・・・」から後が良かった。
- ・ ヨイトマケの労働作業のリズムをたくましく。少し上を流れていきがち。

「雲に人間を殺させるな」

- ・ 淡々と物語を歌い語っていく。横に長く変化少なく歌っていくが、要所要所でメリハリがほしい。文楽の歌い手などの技法の研究も。外山雄三の曲は、日本語のリズムに神経を敏感に注ぎ、作曲されているので。日本民謡のリズムの様々なパターンの研究から「歴落」を作曲したように。

——休憩——